平成２７年度事業報告書

Ⅰ　設立目的

本公社は、練馬区が基本構想に掲げる、環境と共生する快適なまちの形成に資するため、環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進および環境への負荷の低減に努め、もって練馬区の健全な発展と、住民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

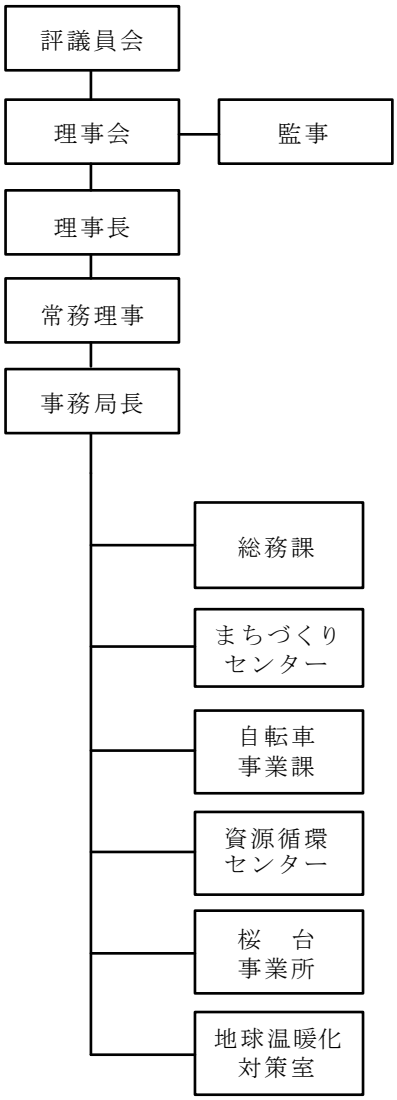
Ⅱ　沿革

昭和 62 年（1987）	11 月 10 日	財団法人練馬区都市整備公社発足
平成 元年（1989）	9 月	ねりまタウンサイクル事業業務受託
平成 4 年（1992）	5 月	三原台三丁目土地区画整理事業事務局業務受託
	7 月	区立有料自転車駐車場管理運営業務受託
平成 5 年（1993）	1 月	練馬春日町駅西地区市街地再開発組合事務局業務受託
	12 月	中里土地区画整理事業事務局業務受託
平成 8 年（1996）	8 月	石神井公園駅北口地区市街地再開発組合事務局業務受託
平成 10 年（1998）	2 月	三原台二丁目土地区画整理事業事務局業務受託
平成 17 年（2005）	4 月	自転車集積所管理業務受託
平成 18 年（2006）	4 月	区立自転車駐車場等の指定管理業務受託
	4 月	放置自転車対策事業受託
	4 月	練馬まちづくりセンター開設
平成 22 年（2010）	4 月	容器包装プラスチック・粗大ごみ回収事業受託
	4 月	練馬区福祉のまちづくり協働推進拠点事業受託
	5 月	練馬区地球温暖化対策地域協議会事務局業務受託
	11 月	練馬区資源循環センター管理運営業務受託
平成 23 年（2011）	5 月	練馬区景観条例に基づく「景観整備機構」の指定
	7 月	練馬区景観形成支援事業受託
	11 月	公社立豊島園駅前自転車駐車場開設
平成 24 年（2012）	4 月 1 日	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社に移行
平成 26 年（2014）	3 月	公社立石神井公園駅東・西自転車駐車場開設
平成 27 年（2015）	3 月 30 日	東京都知事から可燃ごみ・不燃ごみ収集事業の公益認定を受ける。
平成 27 年（2015）	4 月	可燃ごみ・不燃ごみ収集事業受託

Ⅲ　基本財産

２億円（全額練馬区からの出資金）

Ⅳ　組織・社員数（平成 28 年 3 月 31 日現在）



評議員　　７名

役員　　１７名（理事長１名、常務理事２名、非常勤理事 12 名、監事２名）

社員数　２６１名（本部運営８名、まちづくり事業 14 名、自転車適正利用事業 78 名、
資源循環推進・資源回収事業 159 名、地球温暖化対策事業２名）

Ⅴ　事業目的

本公社は、平成 24 年４月１日の公益財団法人練馬区環境まちづくり公社への移行後も練馬区の行政を補完して、環境と共生する快適なまちを実現するため、様々な事業に取り組んできた。

今後も環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進および環境への負荷の低減に努め、住民福祉の向上に貢献していく。

これらの目的を達成するために、

（1）都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための調査、研究およびその成果の普及
（2）都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための普及啓発
（3）都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための相談、助言および援助
（4）練馬区まちづくり条例に基づくまちづくりに必要な支援
（5）区と協働して取り組む、まちづくりの企画、立案および推進に関する事業
（6）自転車等の適正利用に関する事業
（7）資源循環の推進に関する事業
（8）可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業
（9）地球温暖化の防止対策に関する事業

を実施している。

平成 27 年度に実施した各事業の実施状況について、以下にその概要を報告する。

Ⅵ　事業報告

１　都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための調査、研究およびその成果の普及〔定款第４条第１項第１号ア〕

（１）景観まちづくりの手法に関する調査研究

具体的地区をモデルにまち歩きなどを通じて、区民・専門家等と協働して景観まちづくりの手法に関する検討を行った。

＜景観まちづくり研究会の開催＞

区民や建築士等の専門家との協働による景観まちづくり手法（景観まちなみ協定につなげていくための活動やアイディアの検討、モデル地区でのまち歩き等）の研究会。

27 年度開催回数：13 回

テーマ：貸し景のすすめ～「わたし」から始められる景観まちづくり

＜撮り歩きワークショップおよびねりまの風景展のとりまとめ＞

良好な景観の形成に関する調査研究として、区民への啓発を目的としたまちの風景の撮影とまちに対する意見交換を行ってきた。過去４年間のとりまとめとして、「ソラとまちブック」を作成した。

（２）住民参加・協働型のまちづくりに関する調査・研究

住民参加・協働型のまちづくりを進めていくための調査・研究活動として、市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議に参加した。

開催日・主催者	内　　容	参加者数
7 月 1 日・練馬区	第８回総会 現地視察：武蔵関地区	23 名
10 月 3 日、4 日・日本都市計画家協会	全国まちづくり会議･日韓まちづくりセンターフォーラム参加（東京大学生産技術研究所）	8 名
3 月 9 日・足立区	平成 27 年度第 1 回会議 現地視察：千住歴史プチテラス等	18 名

＜参加団体＞

一般財団法人世田谷トラストまちづくり、公益財団法人まちみらい千代田、公益財団法人としま未来文化財団、草加市、公益財団法人名古屋まちづくり公社名古屋都市センター、高知市・高知市市民活動サポートセンター、福山市、横浜市、株式会社横浜都市みらい、公益財団法人練馬区環境まちづくり公社練馬まちづくりセンター

（３）みどり景観資源保全方策に関する取り組み

練馬区におけるみどり景観資源を育む活動を推進するため、みどりの空間保全・創出に向けた方策についての調査・研究を行った。

＜暮らしの庭楽しみ隊＞

作業日・見学会	内　　容
5/13、6/10、7/8、9/6、10/14、11/18、12/16、1/20、2/17、3/16	豊玉南（オープンガーデン、作業）
4/2・4/16・6/3・7/24	大泉学園町（見学会）
11/28	大泉学園町（ちゃい旅）

（４）インターンシップ（学生実習生受入れ）制度の実施

学生がまちづくりセンターでの就業体験を通して職業意識を高めるとともに、センター社員が実習生の教育を行うことを通じて、自己啓発の契機を得ることを目的として、大学生をインターンシップとして受け入れた。

＜受け入れ状況＞

実施時期	平成 27 年 8 月 ～ 9 月
学　校　名 および人数	兵庫県立大学大学院、東京理科大学、東洋大学、東京大学 ４名

（５）まちづくりセンター運営協議会の開催

まちづくりセンターが適切・公正な運営や効果的な事業を行い、練馬区内のまちづくり活動の促進に資するよう助言を行う組織として、「練馬まちづくりセンター運営協議会」を設置している。学識経験者や公募区民など 10 名の委員により構成し、センターの企画運営や今後の事業展開などについて意見交換を行った。

開催日・場所	内　　容	出席者
3 月 22 日 公社 3 階会議室	・平成 27 年度事業報告および平成 28 年度事業計画 ・みどり事業の実施予定内容について	8 名

２　都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための普及啓発

〔定款第４条第１項第１号イ〕

（１）まちづくり情報誌「こもれび」の発行

区民のまちづくりへの関心を高めるため、まちづくりセンターの各種事業を紹介するとともに、まちづくりに関する様々な情報を掲載した「こもれび」を発行した。普及啓発のため、新聞折り込みや読者アンケートを実施し、読者の拡大や読者ニーズの把握を行った。

・ 規　　格　タブロイド判カラー４ページ
・ 発行回数　年 3 回発行（6 月・10 月・2 月）

発行号	発行月	特　　集
第 56 号	6 月	とうごの松さんと探る高松

第 57 号	10 月	練馬駅前ものがたり
第 58 号	2 月	石神井台ってどんなまち

・発行部数　各号 22,000 部

・配置場所　区内公共施設、各駅広報スタンド、郵便局、特集地区内新聞折込等

（２）まちづくり交流事業

① まちづくりカフェ

まちづくりに関するテーマに沿って、少人数で参加者同士が気軽に議論を交わし交流を深める「まちづくりカフェ」を実施した。

＜まちづくりカフェ実施状況＞

回	開催日・場所	内　　容	参加者
第 1 回	6 月 3 日 練馬まちづくりセンター	多世代居住のシェア住宅～松戸市のみかんハウス	14 名
第 2 回	10 月 16 日 東京おかっぱちゃんハウス（上石神井）	古民家で創る人の縁で地域を活性化～地域の人とアーティストの交流拠点	9 名
第 3 回	11 月 10 日 エコダハウス（豊玉北）	まだまだ使える空家を活用して地域の繋がりづくり ―タウンコレクティブ新江古田―	15 名

② まちづくりセンターサポーターネット

登録者に対し、メールマガジンによる「まちづくりセンターサポーターネット」の情報発信を行った。

③ 大江戸線延伸促進アトリウム展示補助

延伸地域（大泉学園町・大泉町・土支田）の魅力を紹介し、広く区民に周知するためのパネル制作を行った。

（３）まちづくり講座等の開催

区民のまちづくりに対する関心と意欲を高めるとともに、地域のまちづくりリーダーを育成することを目的として、区や区内のまちづくり関係団体と連携して、まちづくり講座を開催した。

＜まちづくり講座実施状況＞

回	開催日・場所	内　　容	参加者
第 1 回	2 月 7 日 ココネリホール	空きスペースでまちを豊かにする～私たちらしい解決・活用 ＜京都編＞ 自治組織が取り組む『空き家問題』がきっかけでマッチングやアーティスト支援へ発展	36 名

第 2 回	3 月 12 日 ココネリホール	空きスペースでまちを豊かにする～私たちらしい解決・活用 ＜高崎編＞ 団体らしい活動の先にある空間活用とマッチング	40 名

（４）ライブラリー運営

区民の方のまちづくり活動の参考となる図書や冊子、パンフレット等を配架した「情報コーナー」を設置し、閲覧と図書貸出を行っている。

・蔵書数 2,083 冊（平成 28 年 3 月 31 日現在）

（５）練馬区の住民参加型協働事業に対する支援

練馬区が行う区民との協働事業や区民参加型事業について、まちづくりセンターが企画協力や運営支援を行っている。

① 福祉のまちづくり関連事業（受託事業）

平成 27 年度は、前年度に引き続き、ユニバーサルデザインについての普及啓発や区民や事業者に対する相談支援を行うユニバーサルデザイン推進ひろば（福祉のまちづくり協働推進拠点事業）、区の実施する福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業の公開審査会等イベントの開催や事業 PR、相談業務および地域福祉情報の作成・発行について、受託事業として実施した。

＜福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業＞

福祉のまちづくりに取り組む区民の主体的な活動を支援。公開イベントの実施、広報、専門家派遣

・事前相談 4/6～17
・公開審査会 6/14
・中間発表会 10/24
・研修会 2 回
・専門家派遣 3 団体

＜福祉のまちづくり協働推進拠点事業＞

ユニバーサルデザインに関する相談、普及啓発、建築物のバリアフリー化推進の事業実施

・区民意見聴取事業
・民間建築物のバリアフリー化相談対応
・アトリウム展
・小学生ユニバーサルデザイン体験教室
・調査研究

＜地域福祉情報紙作成・発行＞

地域福祉情報を広く区民に周知する情報紙の作成および発行業務（取材、編集、配布）年4回発行：各号15,000部

② 景観形成支援事業（受託事業）

＜景観まちなみ協定制度＞

景観まちなみ協定制度では、区民の自発的かつ多様な景観まちづくりの取り組みを協定締結によって明確なものとして位置づけ、その普及を通じて区民自らが地域の景観を向上するきっかけづくりを行っている。こうした活動を支援し具体の目に見える景観向上を推進することで、さらなるまちづくり活動への展開や活動の主体となる体制の強化を目指して事業実施している。

＜景観まちなみ協定締結地区支援＞

１） 北町旧川越街道地区（旧川越街道の歴史を活かしたまちなみ協定）

２） 大泉北泉町会地区（花咲く小路づくりまちなみ協定）

３） 春日町三丁目豊島園通り地区（春日町、話し花咲くまちなみづくり協定）

４）旭丘千川通り商店街地区（花で人と道をつなぐ千川通りの景観づくり協定）

５）東大泉四丁目地区（東大泉四丁目の歴史、自然を活かした景観まちなみ協定）

・新規地区相談回数：13回

・専門家派遣：3回

＜地域景観資源登録事業＞

景観資源の保全は、区内全域に渡る情報収集による資源発掘が重要である。新たな景観資源を発掘したり、景観価値を創出・向上させたりするには、センターが持っている情報を活用した、区民との情報ネットワークの構築が重要である。

景観資源の登録については、地域を特徴づける建築物や良好な景観等を区民等から年度内に２回募集し、公社の設置する地域景観資源登録選定委員会に諮った。選定された景観資源は、所有者等の同意手続きを行ったうえで、練馬区により登録された。平成28年3月31日現在、８９７件が地域景観資源として登録されている。

＜地域景観資源登録選定委員会＞

開催日・場所	内　　容	出席者
9月2日 練馬区役所19階会議室	審議件数　46件（うち前回審議件数 3件） ・選定件数　37件 ・不選定件数　8件 ・再審議件数　1件	10名

1 月 22 日 練馬区職員研修所	審議件数　　32 件（うち前回審議件数 2 件） ・選定件数　　26 件 ・不選定件数　　1 件 ・再審議件数　　5 件	9 名

＜普及啓発事業＞

区民を対象に、区内を歩くことで景観に対する啓発を促すことを目的とした景観ウォッチング（まち歩き）を開催した。また、練馬らしい良好な景観形成に必要な知識を学ぶ、景観まちづくり講座を開催した。

＜景観ウォッチング実施状況＞

開催日・場所	内　　容	参加者
11 月 14 日 北町地区周辺	「散歩が変わる、景観がわかる　景観ウォッチング【北町編】」	11 名

＜景観まちづくり講座実施状況＞

開催日・場所	内　　容	参加者
9 月 5 日 石神井区民交流センター	お宅の塀ぎわ１０ｃｍからできる“みどりの景観アイディア”講座 講師：木村　智子氏 （コミュニティガーデンコーディネーター）	26 名
2 月 24 日 区民・産業プラザ研修室	昭和のレトロ建築から読み取る、景観まちづくりのヒント 講師：桑田　仁氏 （杉並たてもの応援団 代表）	45 名

③　農の風景育成事業

高松一・二・三丁目農の風景育成地区における「保護樹木」の指定・拡大による屋敷林等の保全に向け調査を実施し、農の風景育成地区の将来像等の検討に反映する基礎資料の作成を行った。

（６）ホームページによる情報発信

まちづくりに関する情報をより多くの方に提供していくため、練馬まちづくりセンターの独自のホームページを作成し、センターが実施する各種事業や区民のまちづくり活動等に有益な情報を発信した。

３　都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための相談、助言および援助

〔定款第４条第１項第１号ウ〕

（１）まちづくり相談および地区まちづくり活動支援

区民や地権者等が抱えるまちづくりに関する様々な相談に対し、必要に応じて、センタースタッフが地域に出向いて相談に応じている。また、専門的立場からの対応が必要な場合には、まちづくり専門家派遣制度を活用し対応している。

＜登録専門家派遣実績＞

団　　体　　名	派　　遣　　日	専門家氏名（専門分野）
練馬駅南地区まちづくり憲章を推進する会	5 月 12 日	北山健一氏（都市計画）
	5 月 21 日	北山健一氏（都市計画）
	7 月 16 日	北山健一氏（都市計画）
	10 月 15 日	北山健一氏（都市計画）
	12 月 10 日	北山健一氏（都市計画）
	2 月 18 日	北山健一氏（都市計画）

＜地区まちづくり支援＞

団　　体　　名	開 催 日		内　　容
武蔵関環境を守る会（総合型地区まちづくり協議会） 【建築協定相談件数】 平成 27 年度　10 件 平成 26 年度　10 件 平成 25 年度　12 件 平成 24 年度　20 件 平成 23 年度　15 件 平成 22 年度　11 件	6 月 5 日		窓口代行について
	7 月 10 日		窓口代行について
	7 月 15 日		窓口代行について
	7 月 28 日		地区説明会ポスティング
	8 月 19 日		窓口代行について
	9 月 29 日		窓口代行について
	10 月 7 日		窓口代行について
	1 月 20 日		窓口代行について
武蔵関建築協定受付窓口代行業務	8 月 20 日		窓口代行の契約について
	10 月 14 日		窓口代行の契約について
	2 月 19 日		申請受付および受付報告書の送付
練馬区環境まちづくり公社内実務研修 「建築協定と地区計画」	前期	後期	内　　容
	7/3	9/11	オリエンテーション/建築とまちづくり
	7/10	9/18	都市計画制度と建築基準法ついて
	7/17	10/9	建築協定と地区計画について
	7/24	10/16	武蔵関の建築協定と地区計画
	7/31	10/23	実技試験

団　　体　　名	開 催 日	内　　容
高野台５丁目中央地区住みよいまちづくりの会（総合型地区まちづくり協議会）	4 月 4 日	第 52 回定例会
	6 月 6 日	第 53 回定例会
	8 月 1 日	第 54 回定例会
	10 月 3 月	第 55 回定例会
	12 月 5 日	第 56 回定例会
	2 月 6 日	第 57 回定例会

＜特定地区のまちづくり支援＞

地　区　名	開催日	内　容
江古田 ［とにかく江古田！プロジェクト］	10 月 31 日～ 11 月 1 日	［駅前広場をごった返そう！プロジェクト］（江古田駅南口駅前広場） ・参加者数：2 日間合計で 7,050 人以上
	12 月 7 日・ 12 月 15 日	［江古田研究会］ ・開催場所：小竹町地域集会所/栄町会館 ・参加者数：2 日間合計で 59 名（うちファン登録数：11 名）
	12 月 3 日	［こたけあそび］へ出展 ・場所：八雲神社 ・参加者数：（400 名参加）
	2 月 3 日～ 3 月 31 日	［昭和と青春の街・江古田写真展２］ ・展示場所：江古田駅構内、自転車駐車場、マザーグース、モカ
	2 月 27 日～ 2 月 28 日	［江古田をはさもう冬のパンまつり］ ・内容：パンあるき、ステージイベント、スタンプラリー、ワークショップ、まちあるきワークショップ ・PR 冊子：500 冊 ・参加店舗：16 店舗 ・参加団体：5 団体 ・スタンプラリー参加者：99 名 ・ファン登録者：192 名 ・入込客数：2 日間で 600 人以上
	4 月～3 月	［ホームページ・Facebook の運用］ ・Facebook 最大リーチ数：14,714 人 ・ホームページ閲覧数：22,025 ［事業 PR ポスターの作成・掲示］ 掲示場所：西武線各駅/東横線主要駅 ［事業 PR リーフレットの作成・掲示］
地　区　名	開 催 日	内　容
大泉学園町地区	5 月 14 日	商店街パワーアップ作戦　会合出席 参加者：10 名
	6 月 15 日	商店街パワーアップ作戦　会合出席 参加者：12 名
	7 月 10 日	商店街パワーアップ作戦　会合出席 参加者：11 名
	8 月 19 日	商店街パワーアップ作戦　会合出席 参加者：10 名
	10 月 9 日	商店街パワーアップ作戦　会合出席 参加者：12 名
	11 月 28 日	第 1 回 秋のちゃい旅～茶・菓・庭をめぐる旅～ 参加者：50 名

	12 月 2 日	商店街パワーアップ作戦　会合出席 参加者：11 名
	2 月 18 日	商店で聞く！体験する！まちとお店のバリアフリー勉強会 参加者：10 名
	3 月 1 日	商店街パワーアップ作戦　会合出席 参加者：10 名

地　区　名	開 催 日	内　容
城南住宅地区 （☆防災委員会）	9 月 2 日	現地見学会
	10 月 2 日	日本建築学会･東京の住宅地シンポジウム
	11 月 1 日	秋のガーデンパーティ
	11 月 2 日	今後の進め方に関する相談
	11 月 29 日	防災座談会☆

（２）まちづくり活動への活動費助成

「練馬区民が住み続けたいと思えるような美しい地域環境と豊かな地域社会を実現するための、区民の主体的なまちづくり活動」を対象とし、その実現のために、地域においてまちづくりを始めようとしている区民や、まちづくりに関する調査・学習活動等に取り組む区民の自主的なまちづくり活動に対して、活動費の助成を行った。

①　部門・対象団体

［たまご部門（随時受付・書類審査)］

これから身近な生活空間の保全･改善･創造のための活動に取り組むにあたっての事前学習など、企画の準備・計画を行うことに対しての助成

	グループ名/企画の名称	決定金額（円）
1	「カタクリとホタルの里」町づくり/大泉町の自然とのふれあい交流広場	50,000
2	ねりまクラフトーク/文様ワークショップによる街の魅力発見とコミュニティづくり	50,000
3	ガラクタ出版/街を舞台にした小説の発行による街の魅力発信	50,000
4	しゃくじいの庭地域オープンガーデン実行委員会/オープンガーデンを使った地域コミュニティづくり	50,000
5	はぴまなびネットワーク/まなぶ つなぐ ひとまちこれから	22,000

［はばたき部門（公開審査）］

身近な生活空間の保全・改善・創造のための活動への助成

	グループ名/企画の名称	決定金額（円）
1	おとあーと研究室/おとまち・いろまち・ねりまち～音楽とアートをツールとして子育て世代がつながる～	300,000
2	豊島園まち議会/「こんな公園になるといいな」の夢つむぎ その２	300,000
3	どうぞの会たまむすび舎/たまむすび舎においでよ～おとなもこどももむすびあい育ちあう場所つくり～	300,000
4	江古田ユニバース/エコユニAIR2015	260,000
5	くらしこよみ/ワークショップ等を通じて地域力をコーディネートして新たなつながりを	300,000
6	TEAM・ネリマメ（練馬芽）/大豆だいすき！ネリマメプロジェクト	151,000
7	サイエンスカフェねりま/三宝寺ファン・倍増プロジェクト　ジュニア諸君、君たちも我々の仲間だ！	223,000
8	旧同潤会江古田分譲住宅佐々木邸保存会/旧同潤会江古田分譲住宅におけるコミュニティ形成に関する調査および関連の昭和期史料のデジタル化	300,000
9	南田中のまちを考える会/子どもの視点から見た「歴史とみどりのガイドマップ」づくり	195,000
10	桜台自治会趣味のネットワークの会/桜台地域の人達が、趣味を通して交流できるネットワークを構築して、仲間の多い「住みやすい楽しいまちづくり」を促進	136,000
11	ボイス・オブ・エコダ/ENGAGEMENT 練馬野菜とアートそしてカルチャー	300,000
12	高野台五丁目中央地区すみよいまちづくりの会/防災活動で地域コミュニティを元気に！	218,000

② 公開審査会および報告会

名　称	開 催 日・場 所	内　　容
公開審査会	6 月 7 日 武蔵大学	はばたき部門の活動支援団体を審査・選定した。
中間報告会	10 月 17 日 武蔵大学	はばたき部門の助成を受けた団体が、活動の進捗状況の報告を行った。
最終報告会	3 月 26 日 武蔵大学	今年度助成を受けたすべての団体が、1 年間の活動報告を行った。

（３）まちづくり登録団体支援

センターの登録団体に対し、まちづくり活動に必要な打合せ・作業スペースの提供を行うとともに、印刷機利用等の支援やプロジェクター等の貸出を行った。

・登録団体数：177 団体（平成 28 年 3 月 31 日現在）

＜月別利用状況＞　　（単位：名）

年　月	個人利用	団体利用	合　計
２７年４月	５１	９８	１４９
５月	４４	７０	１１４
６月	２６	８８	１１４
７月	３３	９１	１２４
８月	７	５１	５８
９月	２１	５６	７７
１０月	４９	５９	１０８
１１月	３４	８３	１１７
１２月	２７	４５	７２
２８年１月	３４	４６	８０
２月	２４	７１	９５
３月	１９	７１	９０
合　　計	３６９	８２９	１１９８

（４）「建築無料相談」の後援

相談・支援事業を充実させていくため、一般社団法人東京都建築士事務所協会練馬支部と連携し、協会が区役所内で実施する建築無料相談事業（毎月第４月曜日）の後援をした。

・相談件数：49 件

４　練馬区まちづくり条例に基づくまちづくりに必要な支援

〔定款第４条第１項第２号〕

＜大規模建築物等の建築手続きに係る専門家派遣＞

練馬区まちづくり条例に基づき、一定規模以上の大規模建築物等の建築、増築、用途変更などが計画されることによって、周辺住民と事業者が建築計画について話し合う場合に、第三者の立場からアドバイスを行う専門家の派遣事業を、まちづくりセンターが区からの受託事業として実施している。アドバイスを行う専門家は弁護士、一級建築士、都市計画または建築に関する学識経験者の 3 名一組で、１案件につき最大 3 回まで派遣を行う。

平成 27 年度は、該当案件が発生しなかった。

５　自転車等の適正利用に関する事業

〔定款第４条第１項第４号〕

（１）タウンサイクル・自転車駐車場の管理運営

① タウンサイクルおよび区立有料自転車駐車場

練馬区の指定管理者として、ねりまタウンサイクル、区立有料自転車駐車場の管理運営を行った。

○　施設数・収容台数の比較

区　　分	平成２８年3月３１日現在	平成２７年3月３１日現在	増　減　数
タウンサイクル	7施設　2,700台	7施設　2,700台	0施設　0台
有料自転車駐車場	67施設　32,101台	65施設　31,483台	2施設　618台
(うち原動機付自転車)	(18施設　660台)	(17施設　644台)	(1施設　16台)
合　　計	74施設　34,801台	72施設　34,183台	2施設　618台

［平成27年3月31日現在と平成28年3月31日現在との比較］

新規施設　２施設

施設名	収容台数
田柄（H27.4.1開設）	200台（うち原付　19台）
東大泉(H27.4.1開設)	440台
計	640台（うち原付　19台）

改修施設　２施設

施設名	収容台数	増減数
光が丘第三（H27.3改修）	390台	3台
大泉学園駅北第二(H27.3改修)	360台（うち原付　31台）	△25台(うち原付　△3台)
計		△22台（うち原付　△3台）

○　利用料金

区　　分	利　用　方　法		1か月	3か月	6か月
タウンサイクル	定期	一　　般	2,000円	5,700円	9,600円
		学　　生	1,500円	4,200円	7,200円
	当日	一般・学生	1　　日　　200円 4時間以内　　100円		
有料自転車駐車場	定期	屋根有　一　般	2,000円	5,700円	9,600円
		学　生	1,500円	4,200円	7,200円
		屋根無　一　般	1,500円	4,200円	7,200円
		学　生	1,100円	3,100円	5,200円
		ﾀｳﾝｻｲｸﾙ（併用）	2,500円	7,100円	12,000円
		原動機付自転車	3,000円	8,000円	16,000円
	当日	自　　転　　車	1回　　100円		
		原動機付自転車	1回　　200円		
	時間制	自　　転　　車	6時間、8時間、12時間、24時間ごとに100円（最初の2時間もしくは3時間は無料）、施設によって時間制料金が異なる。		

※有料自転車駐車場の定期利用料金は、上記利用料金表の金額を基準として、駅から施設までの距離や利用形態により異なる。

○　利用時間

区　　分	利　　用　　時　　間
タウンサイクル	定期利用：２４時間（ただし、下記施設を除く） ・大泉学園駅北口　　４：００ ～ 翌１：２０ 当日利用：平日８：００～２１：００ 土日祝９：００～１７：００
有料自転車駐車場	２４時間（ただし、下記施設を除く） ・石神井南自転車駐車場 上石神井駅南第２自転車駐車場　　６：３０ ～ ２３：００ ・北町２丁目自転車駐車場　　４：３０ ～ 翌１：３０ ・平和台駅前地下自転車駐車場　　６：００ ～ ２３：３０ ・大泉学園駅北自転車駐車場 （月～金曜日）　　６：３０ ～ ２２：００ （土曜日）　　７：００ ～ ２２：００ ・大泉学園駅北口地下自転車駐車場　５：３０ ～ 翌１：３０ ・大泉学園駅南口地下自転車駐車場　５：３０ ～ 翌１：３０

② 公社立自転車駐車場

名称（開設年月日）	施設概要
豊島園駅前（H23.11.1）	時間利用専用 収容台数：99台 24時間毎100円（最初の２時間無料）
石神井公園駅東（H26.3.1）	時間利用 収容台数：137台（うち8台は原付） 24時間毎100円（最初の３時間は無料） 定期利用 収容台数：759台
石神井公園駅西（H26.3.1）	時間利用 収容台数：284台 24時間毎100円（最初の３時間は無料） 定期利用 収容台数：564台

平成27年度　ねりまタウンサイクル利用状況

※稼働率 (B+C)/A

駅名	施設名	開設年月日	供用台数(A)	定期利用人数(人)				当日利用人数(人)	稼働率	
				一 般	学 生	減 免	計 (B)	[人／営業日](C)	今年度	前年同期
東武練馬	東武練馬ﾀｳﾝｻｲｸﾙ	平成 4年 4月11日	200 台	118	10	6	134	12.0 人／日	73%	75%
練馬春日町	練馬春日町ﾀｳﾝｻｲｸﾙ	平成 8年 8月 1日	200 台	93	14	11	118	9.4 人／日	64%	63%
練馬	練馬ﾀｳﾝｻｲｸﾙ	平成 4年 4月11日	400 台	290	18	27	335	27.9 人／日	91%	94%
石神井公園	石神井公園駅ﾀｳﾝｻｲｸﾙ	平成 6年 7月15日	400 台	270	42	9	321	19.9 人／日	85%	87%
大泉学園	大泉学園駅北口ﾀｳﾝｻｲｸﾙ	平成 1年 9月 1日	600 台	491	206	14	711	12.8 人／日	121%	125%
	大泉学園駅南口ﾀｳﾝｻｲｸﾙ	平成14年11月15日	500 台	367	199	12	578	13.3 人／日	118%	119%
上石神井	上石神井ﾀｳﾝｻｲｸﾙ	平成 5年 8月 1日	400 台	271	49	13	333	8.8 人／日	85%	90%
合計	7施設		2,700 台	1,900	538	92	2,530	104.2 人／日	98%	100%

※上石神井TCの一般利用271人に併用利用6人を含む

※石神井公園TCの一般利用270人に併用利用14人を含む

平成27年度　有料自転車駐車場利用状況

＜指定管理施設＞

※稼働率 (B+C)/A

駅名	施設名	開設年月日	収容台数(A)	定期利用人数(人)				当日利用人数(人)	稼働率	
				一般	学生	減免	計 (B)	[人／営業日]C	今年度	前年同期
東武練馬	北町二丁目	平成4年7月16日	1階・2階 231台					68.5 人／日	30%	30%
小竹向原	小竹向原駅	平成9年5月1日	平置き 849台	417	261	20	698	325.8 人／日	121%	121%
氷川台	氷川台駅第一拡張	平成8年6月1日	平置き 100台					86.7 人／日	87%	90%
	氷川台駅第一	平成6年4月1日	平置き 722台	790	155	56	1,001	134.2 人／日	157%	156%
	氷川台駅第二	平成6年4月1日	平置き 359台					306.5 人／日	85%	88%
	氷川台駅第三	平成8年6月1日	平置き 187台					205.5 人／日	110%	110%
	氷川台駅第四	平成15年2月7日	平置き 532台	113	57	4	174	105.5 人／日	52%	60%
			原付 47台	23	0	0	23	6.8 人／日	63%	57%
	氷川台駅第五	平成23年1月1日	平置き 160台					79.3 人／日	50%	52%
	氷川台駅第六	平成23年1月1日	平置き 180台	77	28	1	106		59%	53%
	氷川台駅第七	平成23年1月1日	平置き 60台	70	7	1	78		130%	133%
	氷川台駅第八	平成26年10月1日	平置き 150台	97	49	3	149		99%	59%
平和台	平和台駅第二	平成6年3月1日	平置き 650台	349	131	23	503	231.5 人／日	113%	78%
	早宮	平成6年9月1日	平置き 560台					223.6 人／日	40%	43%
	早宮第二	平成8年5月1日	平置き 504台	388	214	29	631		119%	129%
			原付 38台	10	0	1	11	3 人／日		
	早宮第三	平成8年5月1日	平置き 293台	242	121	9	372		127%	121%
	平和台駅前地下	平成8年5月1日	上段 148台	113	75	0	188		116%	109%
			下段 193台	114	81	11	206			
			計 341台	227	156	11	394			
	平和台駅第四	平成18年12月1日	平置き 437台	148	28	11	187	284.6 人／日	108%	120%
	早宮第四	平成22年2月1日	平置き 175台	176	46	8	230		131%	130%
地下鉄赤塚	地下鉄赤塚駅南	平成4年9月1日	1階 322台	304	59	48	411	256.6 人／日	118%	123%
			2階 295台	209	80	3	292			
			3階 338台	93	69	5	167			
			計 955台	606	208	56	870			
			原付 43台					13.5 人／日	31%	36%
新桜台	新桜台駅	平成7年3月1日	平置き 231台					52.1 人／日	23%	25%
新江古田	新江古田駅	平成11年5月1日	平置き 186台	112	13	17	142	90.7 人／日	125%	138%

平成27年度　有料自転車駐車場利用状況

駅名	施設名	開設年月日	収容台数(A)		定期利用人数(人)				当日利用人数(人)	稼働率	
					一般	学生	減免	計 (B)	[人／営業日]C	今年度	前年同期
練馬春日町	練馬春日町駅	平成5年4月16日	平置き	1,004台	305	135	60	500	478.9 人／日	98%	101%
光が丘	光が丘	平成13年2月1日	1階	719台	447	85	95	627	845.7 人／日	112%	111%
			2階	664台	289	49	44	382			
			3階	837台	403	207	21	631			
			計	2,220台	1,139	341	160	1,640			
	光が丘第二	平成13年2月1日	平置き	352台	343	89	9	441		123%	121%
			原付	46台	41	0	7	48			
	光が丘第三	平成14年10月23日	平置き	390台					447.5 人／日	115%	80%
	光が丘第四	平成20年11月1日	上段	69台	48	24	2	74		120%	112%
			下段	105台	91	37	7	135			
			計	174台	139	61	9	209			
	田柄	平成27年4月1日	平置き	181台	116	34	1	151	41.0 人／日	106%	－
			原付	19台							
江古田	江古田栄町	平成6年4月1日	平置き	60台					66.2 人／日	110%	121%
	江古田駅	平成12年3月1日	B1上段	139台	8	5	0	13			
			B1下段	139台	18	10	3	31			
			1階上段	96台	6	1	0	7			
			1階下段	107台	27	6	11	44	71.4 人／日	26%	25%
			2階	91台	24	4	2	30			
			3階	268台	13	7	1	21			
			計	840台	96	33	17	146			
			原付	40台	17	0	2	19	3.8 人／日	57%	45%
	江古田駅第二	平成12年11月15日	平置き	178台					35.5 人／日	20%	21%
	江古田駅第三	平成13年3月15日	平置き	104台	16	2	0	18		18%	16%
			原付	15台	2	0	1	3			
練　馬	練馬駅北地下	平成26年4月7日	平置き	700台	319	156	62	537	357.9 人／日	128%	104%
豊島園	豊島園駅東	平成5年8月1日	平置き	80台					95.2 人／日	119%	126%
	豊島園駅西	平成6年9月1日	平置き	322台	90	52	21	163	128.2 人／日	90%	95%
練馬高野台	練馬高野台駅南	平成11年5月1日	平置き	532台	295	126	49	470	219.1 人／日	130%	129%

平成27年度　有料自転車駐車場利用状況

駅名	施設名	開設年月日	収容台数(A)		定期利用人数(人)				当日利用人数(人)	稼働率	
					一般	学生	減免	計 (B)	[人／営業日]C	今年度	前年同期
石神井公園	石神井公園駅北	平成5年3月1日	1階	400台	160	56	21	237			
			2階	396台	135	89	9	233			
			計	796台	295	145	30	470	292.0 人／日	89%	84%
			原付	104台	39	0	1	40			
	石神井公園駅北第二	平成5年7月1日	1階上段	194台	51	45	1	97			
			1階下段	194台	55	21	15	91			
			2階上段	190台	108	102	0	210			
			2階下段	190台	35	28	2	65	89.2 人／日	69%	71%
			計	768台	249	196	18	463			
			原付	32台							
	石神井南	平成6年8月1日	1階	540台	152	69	42	263			
			2階	466台	98	99	7	204			
			併用1階		12	0	0	12	273.0 人／日	75%	75%
			併用2階		5	0	0	5			
			計	1,006台	267	168	49	484			
	石神井南　拡張	平成9年5月1日	平置き	40台					71.4 人／日	143%	92%
			原付	10台							
大泉学園	大泉学園駅南第一	平成5年4月16日	平置き	148台					127.5 人／日	86%	96%
	東大泉第三	平成8年9月1日	平置き	67台					133.0 人／日	198%	137%
	大泉学園駅北	平成10年3月2日	平置き	150台	112	71	5	188		125%	120%
	大泉学園駅北第二	平成11年10月15日	平置き	307台					505.0 人／日	164%	135%
			原付	28台					34.7 人／日	124%	
	大泉学園駅南バス通り	平成10年9月1日	平置き	1,125台	403	227	46	676			
			原付	75台	25	0	3	28	387.1 人／日	91%	92%
	大泉学園駅西第三	平成13年4月16日	平置き	180台					218.2 人／日	121%	120%
	大泉学園駅北口地下	平成13年11月22日	地下1階上段	155台	155	28	6	189			
			地下1階下段	155台	146	43	16	205			
			地下2階上段	391台	281	76	4	361	206.5 人／日	123%	126%
			地下2階下段	391台	286	92	9	387			
			計	1,092台	868	239	35	1,142			
	大泉学園駅南口地下	平成14年11月15日	上段	323台	148	35	4	187			
			下段	349台	139	48	17	204	282.1 人／日	100%	101%
			計	672台	287	83	21	391			

平成27年度　有料自転車駐車場利用状況

駅名	施設名	開設年月日	収容台数(A)		定期利用人数(人)				当日利用人数(人)	稼働率	
					一般	学生	減免	計 (B)	[人／営業日]C	今年度	前年同期
大泉学園	大泉学園駅南第二	平成15年4月1日	上段	40台	23	4	1	28			
			下段	80台	57	5	6	68			
			機械式	208台	158	42	7	207	246.0 人／日	122%	111%
			2階・3階	122台							
			計	450台	238	51	14	303			
	学園通り	平成15年11月1日	平置き	201台					135.4 人／日	67%	71%
	中島橋	平成15年11月1日	平置き	97台					84.3 人／日	87%	85%
			原付	28台					10.2 人／日	37%	21%
	東大泉	平成15年11月1日 平成24年9月1日～平成27年3月31日休止 平成27年4月1日再開	上段	189台							
			下段＋平置き	251台					308.6 人／日	70%	－
			計	440台							
	大泉学園駅北第三	平成19年4月1日	1階	473台	356	62	22	440			
			2階	500台	449	119	19	587			
			3階	551台	474	150	14	638	107.5 人／日	116%	116%
			計	1,524台	1,279	331	55	1,665			
	大泉学園駅北第四	平成26年10月1日	1階平置き	64台	75	6	2	83			
			B1	140台	93	50	6	149			
			2階	135台	84	67	1	152		113%	103%
			3階	161台	109	67	3	179			
			計	500台	361	190	12	563			
保　谷	南大泉	平成6年5月1日	1階	960台	398	139	83	620			
			2階	680台	168	146	3	317			
			3階	780台	171	117	2	290	598.5 人／日	74%	75%
			計	2,420台	737	402	88	1,227			
			原付	76台	29	0	0	29			
上石神井	上石神井駅北第一	平成5年4月16日	平置き	136台					77.0 人／日	57%	53%
	上石神井	平成6年4月1日	1階	214台	155	57	25	237	112.5 人／日		
			2階	205台	57	48	1	106			
			3階	220台	55	52	2	109			
			併用1階		8	0	0	8		90%	80%
			併用2階		0	0	0	0			
			併用3階		1	0	0	1			
			計	639台	276	157	28	461			

平成27年度　有料自転車駐車場利用状況

駅名	施設名	開設年月日	収容台数(A)		定期利用人数(人)				当日利用人数(人)	稼働率	
					一般	学生	減免	計 (B)	[人／営業日]C	今年度	前年同期
上石神井	上石神井駅北第二	平成6年9月1日	平置き	381台	351	60	22	433		114%	119%
	上石神井駅北第三	平成7年12月1日	平置き	400台	159	69	14	242	169.1 人／日	99%	101%
			原付	25台	8	0	0	8			
	上石神井駅南	平成8年3月1日	平置き	212台					28.2 人／日	13%	19%
			原付	10台							
	上石神井立野橋	平成8年11月1日	平置き	243台	64	25	0	89	17.4 人／日	43%	49%
			原付	10台	1	0	1	2			
	上石神井駅南第二	平成12年5月1日	平置き	125台	112	32	9	153		122%	125%
	上石神井駅南第三	平成27年3月1日	平置き	150台					123.8 人／日	83%	3%
武蔵関	庚申橋	平成7年4月1日	平置き	123台					52.6 人／日	43%	47%
	武蔵関駅北	平成9年11月1日	平置き	430台	270	108	11	389	100.9 人／日	86%	87%
	武蔵関駅北第二	平成13年8月1日	平置き	240台					85.5 人／日		
	武蔵関駅南	平成10年5月1日	平置き	260台	198	89	16	303		117%	118%
	武蔵関駅西	平成10年5月1日	平置き	470台	295	169	17	481		102%	101%
			平置き	126台					57.9 人／日	46%	47%
			原付	14台					2.3 人／日	17%	27%
	武蔵関駅東	平成17年3月1日	平置き	278台	178	59	9	246		88%	92%
	武蔵関駅南第二	平成18年4月1日	平置き	246台					69.1 人／日	28%	28%
合 計	６７施設		自転車	31,441台	13,669	5,374	1,136	20,179	10,271.3 人／日	96%	94%
			原付	660台	195	0	16	211			

＜公社立自転車駐車場施設＞

※稼働率 (B+C)/A

駅名	施設名	開設年月日	収容台数(A)		定期利用人数(人)				当日利用人数(人)	稼働率	
					一般	学生	減免	計 (B)	[人／営業日]C	今年度	前年同期
豊島園	豊島園駅前	平成23年11月1日	平置き	99台					102.7 人／日	104%	106%
石神井公園	石神井公園駅東	平成26年3月1日	平置き	888台	449	282	35	766	119.8 人／日	99%	87%
			原付	8台							
	石神井公園駅西	平成26年3月1日	平置き	848台	459	185	39	683	269.9 人／日	112%	113%
合 計	3施設		自転車	1,835台	908	467	74	1,449	492.5 人／日	105%	100%
			原付	8台	0						

＜指定管理施設、公社立施設合計＞

※稼働率 (B+C)/A

駅名	施設名	開設年月日	収容台数(A)		定期利用人数(人)				当日利用人数(人)	稼働率	
					一般	学生	減免	計 (B)	[人／営業日]C	今年度	前年同期
合 計	70施設		自転車	33,276台	14,577	5,841	1,210	21,628	10,763.8 人／日	96%	94%
			原付	668台	195	0	16	211			

（２）放置自転車対策事業

練馬区からの受託事業として、放置自転車対策事業を行った。

① 放置自転車等の撤去実績

区　　分	平成２７年度	平成２６年度	増減数
自　転　車	１４，７１０台	１７，９４７台	△３，２３７台
原動機付自転車	２２３台	３０３台	△８０台
計	１４，９３３台	１８，２５０台	△３，３１７台

② 自転車集積所の運営（保管・返還）

返還日時　毎日午前9時３０分から午後5時３０分まで（年末年始を除く）

撤去手数料　自転車 4,000 円、50cc 以下の原動機付自転車 7,000 円

保管期間　撤去日翌日から１か月間

＜自転車集積所一覧＞

施　設　名	所　在　地	開設年月日	収容可能台数
中村自転車集積所	中村一丁目９番１４号	平成元・10・1	2,100 台
平和台自転車集積所	早宮二丁目１８番３５号	平成 9・ 5・1	1,280 台
石神井台自転車集積所	石神井台三丁目１７番１６号	平成 5・ 8・1	1,200 台
富士見台自転車集積所	富士見台三丁目３０番２０号	平成 17・10・1	3,600 台
合　　計		４施設	8,180 台

＜返還実績＞

区　　分	平成２７年度	平成２６年度	増減数
保管自転車等台数	１４，５６２台	１７，８９１台	△３，２３９台
返還自転車等台数	８，１５７台	１０，０４２台	△１，８８５台
返　還　率	５６．０％	５６．１％	△０．１％

※保管自転車等台数は、撤去台数から廃棄台数（使用できない自転車の処分台数）を減じた台数

③ 放置自転車防止のための自転車駐車場への案内・誘導

平日　区内 18 駅（新桜台駅・上井草駅・保谷駅・新江古田駅を除く 18 駅）

土日　区内 11 駅（練馬駅・中村橋駅・富士見台駅・練馬高野台駅・石神井公園駅・大泉学園駅・上石神井駅・東武練馬駅・氷川台駅・平和台駅・光が丘駅）

＜誘導員等の配置実績＞

	平成２７年度	平成２６年度	増減数
延べ配置箇所	２１，８６７箇所	２２，１９８箇所	△３３１箇所
延べ時間数	１１１，３２１時間	１１５，６５９時間	△４，３３８時間

④　放置自転車等の問い合わせ対応

『自転車問い合わせセンター』の運営

受付日時　毎日午前9時30分から午後5時30分まで（年末年始を除く）

＜内容および件数＞

区　　分	平成２７年度	平成２６年度	増　減　数
即　撤　去	４，８９１　件	５，５１５　件	△６２４　件
赤 札 撤 去	１，４９８　件	１，６５５　件	△１５７　件
駐輪場案内	２，３８８　件	２，７３９　件	△３５１　件
そ　の　他	１８５　件	２３６　件	△５１　件
計	８，９６２　件	１０，１４５　件	△１，１８３　件

※即撤去は、放置禁止区域内の放置自転車撤去

※赤札撤去は、放置禁止区域外の放置自転車撤去

（３）公社自主事業

①　幼児２人同乗用自転車レンタル事業

子育て世帯の支援策として経済的負担の軽減と幼児２人同乗用自転車の普及促進を先導的に図ることと併せて、自転車利用の安全啓発を目的とした自転車のレンタル事業を行った。

この事業は、練馬区との協議により、事業目的を達成したため、平成２７年度をもって終了した。事業の終了に伴って返還された自転車については順次売却した。

自転車の売却（平成２７年度）　　104台

２７年度末保有台数（平成２８年度売却予定）　55台

②　無料自転車駐車場の管理運営

練馬区との協定に基づき、公社の自主事業として無料自転車駐車場の管理運営を行った。

＜施設数および収容台数＞

区　　分	平成28年3月31日現在	平成27年3月31日現在	増　減　数
無料自転車駐車場	5施設　1,111台	6施設　1,388台	△1施設　△277台
(うち原動機付自転車)	（1施設　14台）	（2施設　44台）	(△1施設　△30台)

③　自転車対策地域協議会の活動支援

区内駅周辺の自転車問題解決に向け、地域の商店会・町会等に働きかけ、協働して自転車問題に取り組むとともに、こうした活動を通じて地域における自転車対策地域協議会の活動支援に努めた。

○　江古田駅周辺

１２月６日、「江古田駅周辺地域連絡会」の３町会を対象に交通安全教室（スケアードストレイト）を開催した。

○　石神井公園駅周辺

１０月４日、地域住民（石神井公園商店街振興組合等）を対象に交通安全教室（スケアードストレイト）を開催した。

④　自転車対策地域協議会の設立支援

区内駅周辺の自転車問題解決に向け、地域における自転車対策地域協議会の設立支援に努めた。

○　練馬駅周辺

駅周辺の商店会等で組織する「練馬駅南地区まちづくり憲章を推進する会」と協働して放置自転車対策を行った。

⑤　被災者へのタウンサイクル自転車の無償貸出

東日本大震災の被災者（区内在住者）に対して、タウンサイクル自転車の無償貸出を行った。

貸出人数：12 人

６　資源循環の推進に関する事業〔定款第４条第１項第５号〕

公社は、資源循環の推進を図り、循環型社会の形成に寄与することを目的に、平成 22 年 4 月から練馬区内の家庭から出る容器包装プラスチックの回収事業と粗大ごみの収集事業を練馬区から受託して実施している。また、平成 22 年 11 月から練馬区資源循環センター（以下「センター」という。）の管理運営事業を受託し、区民が粗大ごみや資源を直接持込み出来る事業や粗大ごみの再利用事業、廃食用油からバイオディーゼル燃料（ＢＤＦ）精製事業、区民・事業所等への普及啓発事業など幅広い事業を行っている。

（１）容器包装プラスチックの回収事業

区内の家庭などから排出される容器包装プラスチックを週 6 日（日曜日を除く）ごみ集積所から回収し、中間処理施設に搬入した。

＜容器包装プラスチック回収実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
回収量（ｔ）	438.42	436.74	428.37	453.70	411.62	440.02	2,608.87
前年同月比	100.4%	96.5%	100.5%	100.5%	99.1%	104.0%	100.1%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
回収量（ｔ）	427.53	399.81	443.06	446.31	395.34	436.38	5,157.30
前年同月比	97.9%	100.5%	98.6%	96.7%	102.8%	103.8%	100.0%

※中間処理施設：新倉リサイクルセンター（埼玉県和光市新倉 7－8－2）

（２）粗大ごみの収集事業

家庭から出る粗大ごみを毎日（月曜日～日曜日）戸別収集して、センターを含む区の２か所の積替え施設に搬入した。

＜粗大ごみ収集実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
収集量（ｔ）	408.29	405.88	413.86	381.68	368.19	369.86	2,347.76
収集件数	15,848	17,230	16,904	15,625	15,376	14,776	95,759
前年同月比	93.7%	99.1%	119.0%	101.4%	102.9%	103.7%	102.8%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
収集量（ｔ）	406.26	379.20	456.79	333.47	354.02	407.63	4,685.13
収集件数	16,569	15,641	19,075	15,308	14,292	14,591	191,235
前年同月比	109.6%	112.4%	107.5%	112.3%	122.0%	103.1%	106.5%

※収集件数は、未収分も含む

※前年同月比は、収集量の比較

（３）センターの受託運営

練馬区の資源循環推進の中核的施設であるセンターにおいて、以下の事業を実施した。

① 粗大ごみ・資源の持込み事業

粗大ごみは、センターによる戸別収集のほかに区民がセンターに自ら持ち込むことが出来る。また、古布・廃食用油等の拠点回収場所になっているとともに、小型家電、乾電池、紙パック、使用済みインクカートリッジの回収ボックスも設置している。

センターへの持込み実績は、下表のとおりである。

＜粗大ごみ持込み実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
持込量（ｔ）	42.35	48.95	33.91	32.15	37.53	36.59	231.48
持込件数	1,325	1,567	1,142	1,054	1,247	1,172	7,507
前年同月比	86.7%	106.5%	83.5%	91.9%	87.1%	101.5%	92.8%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
持込量（ｔ）	40.94	38.03	46.33	33.07	30.98	44.06	464.89
持込件数	1,321	1,230	1,628	1,142	987	1,212	15,027
前年同月比	109.3%	99.6%	88.6%	93.2%	101.2%	100.0%	95.3%

※前年同月比は、持込量の比較

＜古着・古布の持込み実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
回収量（kg）	3,230	6,990	2,980	3,920	4,640	3,050	24,810
前年同月比	90.2%	132.6%	108.8%	151.9%	195.8%	142.5%	132.8%
区全体量(kg)	37,130	86,210	39,970	31,950	33,310	32,720	261,290

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
回収量（kg）	3,130	4,150	4,270	3,930	3,310	3,100	46,700
前年同月比	96.0%	116.9%	153.0%	150.0%	178.0%	89.6%	128.9%
区全体量(kg)	50,590	44,630	42,490	30,990	27,980	30,130	488,100

※区全体量は、集団回収量を含まず。

＜廃食用油の持込み実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
回収量（kg）	318.7	242.6	129.7	242.7	210.3	82.8	1,226.9
前年同月比	320.6%	278.7%	156.2%	376.5%	193.3%	143.6%	245.2%
区全体量(kg)	1,523.0	1,654.0	1,969.0	1,715.0	1,202.0	1,622.0	9,685.0

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
回収量（kg）	111.9	148.8	257.1	104.7	71.8	123.2	2,044.2
前年同月比	166.6%	90.8%	197.2%	148.5%	119.1%	90.6%	181.1%
区全体量(kg)	1,404.0	1,626.0	2,209.0	1,093.0	1,704.0	1,426.0	19,147.0

② 粗大ごみの再利用事業

粗大ごみの中から再利用可能なものを、センターで清掃および簡易な修理を行い、再利用品として関町リサイクルセンター、春日町リサイクルセンターおよび豊玉リサイクルセンターの３館に提供した。

＜再利用実績＞　　単位：点

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
再利用（点）	662	712	620	689	658	575	3,916
前年同月比	95.1%	97.0%	91.9%	109.4%	101.1%	83.8%	96.2%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
再利用（点）	643	574	627	506	542	548	7,356
前年同月比	110.1%	79.9%	114.4%	116.6%	112.9%	81.2%	97.9%

＜提供実績＞　　単位：点

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
関町ＲＣ	230	218	194	229	207	188	1,266
春日町ＲＣ	172	244	202	209	192	173	1,192
豊玉ＲＣ	177	224	195	183	213	199	1,191
計	579	686	591	621	612	560	3,649
前年同月比	96.8%	91.0%	88.7%	102.0%	96.5%	90.6%	94.1%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
関町ＲＣ	224	207	170	171	186	213	2,437
春日町ＲＣ	218	218	143	229	204	186	2,390
豊玉ＲＣ	214	185	169	175	185	206	2,325
計	656	610	482	575	575	605	7,152
前年同月比	99.7%	91.7%	97.6%	108.9%	100.2%	101.5%	96.7%

※ＲＣ：リサイクルセンターの略

③ バイオディーゼル燃料精製事業

区が拠点回収（43 か所）した廃食用油を、センターに設置してある精製機でバイオディーゼル燃料に精製し、区の清掃車の燃料として供給した。

＜精製および給油実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
精製量（ℓ）	678.30	770.80	990.30	562.60	553.60	773.50	4,329.10
給油量（ℓ）	774.20	702.30	1,011.73	420.65	590.57	740.60	4,240.05

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
精製量（ℓ）	666.10	440.19	656.22	662.92	751.32	226.70	7,732.55
給油量（ℓ）	704.22	491.53	675.61	673.75	510.53	380.99	7,676.68

④　金属類の資源化事業

粗大ごみの中から鉄等の有用金属を選別・分解し、資源化事業者に引き渡した。

＜金属類の回収実績＞　　単位：kg

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
鉄類（ｔ）	30.57	31.38	28.87	25.46	28.49	27.58	172.35
非鉄類（ｔ）	3.60	3.47	3.63	3.43	3.71	3.46	21.30
計	34.17	34.85	32.50	28.89	32.20	31.04	193.65
前年同月比	89.8%	100.1%	110.5%	98.5%	95.5%	103.0%	99.1%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
鉄類	30.27	30.05	36.16	27.26	29.33	33.18	358.60
非鉄類	4.24	3.99	4.64	3.54	3.77	3.64	45.12
計	34.51	34.04	40.80	30.80	33.10	36.82	403.72
前年同月比	110.3%	114.7%	102.9%	103.1%	128.0%	106.1%	104.5%

※回収量は、当センターの分のみ

⑤　小型家電製品の資源化事業

練馬区が回収している携帯電話を含む小型家電製品を種類毎に選別・集計し、資源化事業者に引渡した。

回収している小型家電製品は、携帯電話、携帯音楽プレーヤー、携帯ゲーム機器、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルカーナビ、電子辞書、卓上計算機、ＡＣアダプターの９品目である。

＜小型家電製品の回収量等（センター分）実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
個数	176	100	81	56	91	121	625.0
回収量（kg）	25.5	16.4	12.7	7.2	15.7	20.7	98.1
前年同月比	178.7%	43.7%	212.8%	46.8%	138.1%	151.5%	100.0%
区全体量（kg）	258.9	285.5	226.6	201.2	190.1	205.9	1,368.2

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
個数	74	76	50	86	23	68	1,002.0
回収量（kg）	12.0	15.1	9.6	16.0	4.5	11.4	166.7
前年同月比	116.6%	86.2%	104.1%	73.4%	27.8%	94.4%	90.0%
区全体量（kg）	254.8	186.0	194.7	256.8	190.6	237.0	2,688.1

※前年同月比は、回収量の比較

※区全体量は、イベント（14.4kg）分を含まず

⑥　ふとんの資源化事業

粗大ごみの中から「ふとん」を分別し、資源化事業者に引き渡した。

＜ふとんの回収実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
回収量（t）	9.90	10.62	11.73	9.39	6.49	6.23	54.36
前年同月比	112.0%	122.2%	150.2%	122.1%	123.6%	81.7%	118.4%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
回収量（t）	12.24	11.54	13.99	9.55	10.88	11.47	124.03
前年同月比	144.51%	148.71%	146.95%	154.03%	220.69%	143.02%	136.58%

※回収量は、土支田中継所回収分を含む

⑦　資源循環の推進に関する相談および普及・啓発

ア　相談コーナーの運営

清掃・リサイクルに関する書籍や活動団体に関する資料等を収集し、区民の閲覧に供した。

イ　施設見学の受入

センターは、練馬区の循環型社会形成をめざした中核的施設と位置付けられていることから、区民、町会・自治会、小中学生などの個人や団体のセンター見学を積極的に受け入れた。

＜施設見学の月別実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
団体数	1	1	1	1	2	0	6
団体人数	24	11	2	7	19	0	63
個人	4	11	6	3	5	11	40

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
団体数	2	0	0	1	2	0	11
団体人数	108	0	0	18	142	0	331
個人	5	3	1	4	1	0	54

ウ　講習会の実施

ものを大切し、ごみ減量化への意識づけの一助とするため、以下の事業を実施した。

●リサイクル工場を見学しよう！

実施日　　平成 27 年 6 月 27 日（土）

参加人数　２６名

内容　　布団や衣類のリサイクル工場を親子で見学し、リサイクルの現状を見学した。

●ふとんの手入れ方法と手づくりざぶとん講習会

実施日　　平成 27 年 7 月 25 日（土）

参加人数　１７名
講師　　東京都寝具技能士会
内容　　手入れ方法の説明と小ざぶとん作成

⑧　集団回収支援事業

集団回収は、町会・自治会などの団体が、自主的に資源を回収するリサイクル活動で、センターは、活動団体を拡大するためのＰＲや団体と回収事業者間の調整、集団回収に必要な用具類（軍手、紐など）の提供および回収実績の取りまとめ業務などを行った。

集団回収活動団体に対しては、回収実績に基づき、練馬区から回収量１kgあたり６円の報奨金が支給される。

集団回収を実施している団体には、集団回収で使用する軍手、紐を支給した。

用品の支給日：3月 18 日、30 日　郵便番号１７９地域
3 月 22 日　　郵便番号１７６地域
3 月 23 日　　郵便番号１７７地域
3 月 24 日　　郵便番号１７８地域

＜集団回収の回収実績等＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
新規登録団体数	0	1	5	2	2	1	11
廃止団体	0	1	0	0	0	0	1
総登録団体数	557	557	562	564	566	567	
回収量（ｔ）	1,011.4	1,082.2	985.6	860.4	922.1	921.5	5,783.2
前年同月比	90.6%	101.4%	99.2%	94.0%	92.5%	94.1%	95.3%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
新規登録団体数	2	2	0	1	1	0	17
廃止団体	0	0	0	1	1	0	3
総登録団体数	569	571	571	571	571	571	
回収量（ｔ）	979.1	930.5	1,177.2	1,001.6	892.9	1,036.1	11,800.6
前年同月比	96.2%	90.5%	106.7%	102.9%	97.7%	106.6%	97.7%

⑨　生ごみ資源化事業

生ごみ処理機、コンポスト化容器のあっせんおよび購入費助成の受付業務を実施した。

＜実績＞

あっせん件数 0 件、購入費助成申請受付件数 4 件

⑩　大型生活用品情報掲示板事業

区民から申込みのあった「譲ります」「譲ってください」の情報を区立施設 15 か所に設置している情報掲示板に掲示した。

＜「譲ります」の実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
件数	35	25	27	30	9	14	140
成立件数	21	14	10	14	5	9	73
成立率	60.0%	56.0%	37.0%	46.7%	55.6%	64.3%	52.1%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
件数	22	30	34	11	28	32	297
成立件数	14	11	16	8	11	11	144
成立率	63.6%	36.7%	47.1%	72.7%	39.3%	34.4%	48.5%

＜「譲ってください」の実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
件数	7	2	5	9	1	2	26
成立件数	2	0	0	0	0	1	3
成立率	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	11.5%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
件数	5	4	4	2	2	3	46
成立件数	0	1	0	2	1	1	8
成立率	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	50.0%	33.3%	17.4%

⑪　資源循環の推進に係る民間事業者等の支援・育成事業

新たに集団回収を実施する予定の団体には、回収品目（古紙、古布、びん・缶）の品目ごとに対応可能な回収事業者を紹介するとともに、団体の役員会などへの説明を回収事業者と一緒に行った。また、回収事業者には、回収品目となっている物を団体が回収したいとの要望があった場合には、協力するよう要望した。

（４）　区民・事業者との協働の推進

平成 27 年度は、協働づくりとして集団回収の実践団体と回収事業者、区を交えて集団回収の地域懇談会を開催した。

① 郵便番号１７６地域　　３月２２日（火）午後２時～２時４０分
　　参加団体：３４団体

② 郵便番号１７７地域　　３月２３日（水）午後２時～２時３０分
　　参加団体：２５団体

③ 郵便番号１７８地域　　３月２４日（木）午後２時～２時４０分
　　参加団体：２１団体

④ 郵便番号１７９地域　　３月３０日（水）午後2時～2時３５分
参加団体：１５団体

７　可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業〔定款第４条第１項第６号〕

練馬区は、一般廃棄物の収集事業の効率化を図るために、平成 27 年度から可燃ごみ・不燃ごみの収集業務の一部を公社に委託することとした。

公社が可燃ごみ・不燃ごみの収集事業を行うことにより公衆衛生の向上、環境保全を図ることは、公社の定款の目的に即するとともに、既存の資源循環推進事業との相乗効果も生じ、公社の更なる発展に寄与することから、平成 27 年４月から可燃ごみ・不燃ごみの収集事業を受託した。

（１）可燃ごみの収集

練馬区内の約３割の地域で、月曜日から水曜日は、１日１台あたり６回の作業を実施している。木曜日から土曜日は、１日１台あたり４回の作業を実施している。

収集した可燃ごみは、東京 23 区が共同で運営している清掃工場に搬入した。

なお、搬入先の清掃工場は、練馬区の指示に基づいている。

＜可燃ごみ収集の月別実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
回収量（ｔ）	2,797.18	2,884.15	2,789.33	2,836.56	2,597.22	2,795.09	16,699.53
区全体量（ｔ）	10,368.07	10,689.86	10,317.16	10,566.98	9,681.90	10,354.56	61,978.53
公社収集比率	26.98%	26.98%	27.04%	26.84%	26.83%	26.99%	26.94%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
回収量（ｔ）	2,724.11	2,641.75	3,049.36	2,690.46	2,420.88	2,709.37	32,935.46
区全体量（ｔ）	10,191.50	9,787.61	11,248.22	9,981.08	8,943.02	10,081.86	122,211.82
公社収集比率	26.7%	27.0%	27.1%	27.0%	27.1%	26.9%	26.9%

（２）不燃ごみの収集

練馬区内の約３割の地域で、木曜日から土曜日に１日１台あたり２回の作業を実施している。

収集した不燃ごみは、東京 23 区が共同で運営している『中防不燃ごみ処理センター』と新宿区が管理運営している『新宿中継・資源センター』に搬入している。

搬入先の施設は、練馬区の指示に基づいている。

＜不燃ごみ収集の月別実績＞

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	計
回収量（ｔ）	159.34	178.01	170.36	143.49	159.90	166.91	978.01
区全体量（ｔ）	420.30	469.07	442.83	372.84	414.45	432.72	2,552.21
公社収集比率	37.91%	37.95%	38.47%	38.49%	38.58%	38.57%	38.32%

	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	合計
回収量（ｔ）	164.81	183.45	205.90	144.85	168.67	152.15	1,997.84
区全体量（ｔ）	426.19	470.22	540.75	382.57	428.00	389.92	5,189.86
公社収集比率	38.7%	39.0%	38.1%	37.9%	39.4%	39.0%	38.50%

８　地球温暖化の防止対策に関する事業〔定款第４条第１項第７号〕

（１）練馬区地球温暖化対策地域協議会の運営等

練馬区地球温暖化対策地域協議会（以下「協議会」という。）の事務局運営業務を練馬区から受託し、協議会の運営および事業に関する事務を行った。

① 協議会の運営

練馬区における地球温暖化対策を、区民・事業者・区の連携協力により推進するための組織として、平成 22 年５月「練馬区地球温暖化対策地域協議会」が設立された。協議会は、地域における地球温暖化対策にかかわる、区民団体、事業者団体、学識経験者、関係機関および練馬区で構成されれている。(会員団体数　設立当初 27、現在 30)

公社は、関係機関の一つとして会員となるとともに、区から協議会の事務局運営業務を受託した。

＜根拠＞：練馬区地球温暖化対策地域推進計画（平成 21 年３月策定）
地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）

② 協議会事務局の運営

協議会の事務局として、会員の活動支援および区民・事業者等への普及啓発等を行うために、公社に地球温暖化対策室を設置し運営した。

＜組織名＞　（公財）練馬区環境まちづくり公社地球温暖化対策室

＜場　所＞　練馬区豊玉北５－29－８　練馬センタービル８階

③ 平成 27 年度運営実績

○会議等の開催　総会１回　役員会３回　部会６回

○Fun to Share（環境省提唱の低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン）参加

（２）受託事業実績

協議会の事務局として、練馬区から受託した事業を以下のとおり実施した。

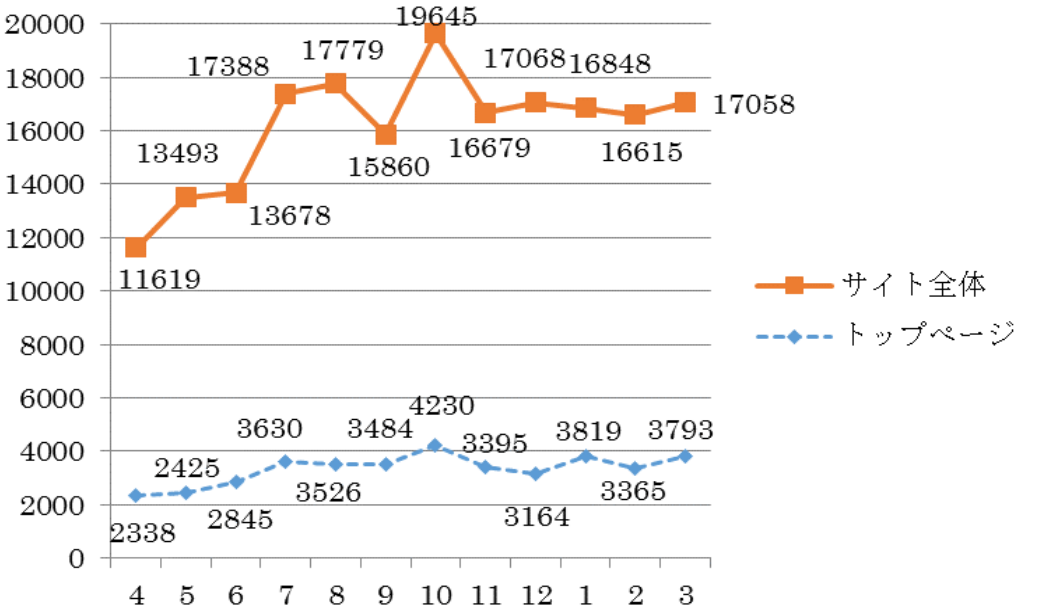
① ホームページの維持管理、運営

地球温暖化対策や協議会の活動などについて、区民等に普及啓発を図るためホームページの運営を行った。

ホームページは事業の周知、結果報告など 31 回更新した。

ホームページへのアクセス数は次表のとおりである。

○アクセス件数：193,730 件（平成 28 年３月 31 日現在）※H26 年度 160,023 件



協議会ホームページアクセス数の推移（月ごと）

② メールマガジンの配信

地球温暖化に関するニュースや協議会の事業案内を行うメールマガジンを 20 回配信した。なお、郵送を希望した区民等へ事業案内を送付した。

○メールマガジン登録者：183 人　郵送送付者：372 人（平成 28 年３月 31 日現在）

（３）協議会事業の運営実績

協議会が練馬区からの補助金により実施する事業を、協議会事務局として以下のとおり運営した。

① 第５回ねりま・エコスタイルフェアの実施

節電、省エネ・省資源につながる展示・発表などを通じて、区内から排出される温室効果ガスの削減を図り、地球温暖化防止その他環境への負荷の低減に寄与することを目的として、「第５回ねりま・エコスタイルフェア　ー地球に人に優しく暮らすー」を開催した。

平成 26 年度から会場をとしまえん遊園地に移し、協議会は区とともに主催者とな

り、自らのブースを運営するほか、本部・パフォーマンスエリアの運営などを行った。
公社からは、資源循環センター、自転車事業課が出展した。

＜第５回ねりま・エコスタイルフェア概要＞

日時：平成27年10月18日（日）　10時～16時

主催：協議会、練馬区

会場：としまえん

実績：出展団体　18

② 区民向け講演会の実施

	第一回	第二回
期日	H27.6.5	H28.2.7
演題	岩谷さんのお天気講座―異常気象から暮らしを守ろう―	電力小売の全面自由化について
会場	区役所地下多目的会議室	Coconeri ホール
講師	岩谷忠幸氏 （気象予報士、防災士、気象キャスターネットワーク副代表・事務局長）	① 経済産業省電力取引監視等委員会取引監視課長　新川達也氏 ② 沼田美穂委員（協議会会員） ③ 東京電力(株) ④ 東京ガス(株) ⑤ (株)ジェイコム東京
実績	参加者72名	参加者218組249名

③ くらしのエネルギー・スキルアップ講座の実施

実施回数：８回

会場：練馬センタービル会議室ほか

第一回	H27.7.17（金）10時～正午 「地球温暖化リスクと私たちの選択」江守正多氏　ほか
第二回	H27.8.21（金）10時～正午 第１部「省エネ　基本の“キ”」山川文子氏 第２部「省エネになるエアコンの使い方」松尾正徳氏
第三回	H27.9.18（金）10時～正午 第１部「自然エネルギーを活かしたエコ住宅」黒岩哲彦氏 第２部「電気の安全で賢い使い方」(一財)関東電気保安協会
第四回	H27.10.18（日）10時～16時 ねりま・エコスタイルフェア（としまえん）体験実習

第五回	H27.11.20（金）10時～正午 第１部「暖房・給湯の省エネ　電気編」東京電力（株） 第２部「暖房・給湯の省エネ　ガス編」東京ガス（株）
第六回	H27.12.18（金）10時～正午 パナソニックリビングショウルーム東京　見学会
第七回	H28.1.15（金）10時～正午 第１部「人にやさしいスマートなくらし」一色正男氏 第２部「練馬区の環境事業などについて」練馬区環境課長
第八回	H28.2.19（金）10時～正午 第１部　ワークショップ「講座で学び、家庭で実践して効果があったこと・難しかったこと」 第２部　修了式

実績：参加者34名、修了者24名

④ こどもエコ・コンクールの開催

小学校３年生から中学校２年生までを対象に、環境をテーマとした作品を募集し、最優秀作品は「第５回ねりま・エコスタイルフェア」で発表するとともに、作品を絵はがきにして配布し、地球温暖化対策の啓発に活用した。

＜こどもエコ・コンクール事業概要＞

募集期間：平成27年７月～９月

募集対象：区内の小中学生　　応募：1,216件（小学生1,004、中学生212）

⑤ ねりねこ☆彡・ねりこんvvが行く

協議会の知名度を上げ、地球温暖化対策の理解を深めていくため、協議会主催のイベントや区内の地域行事にマスコットキャラクターが参加し、協議会のＰＲ活動を行った。

出動回数：10回

6．5　環境月間講演会
6．5　環境月間展示
6．7　春日町リサイクルセンター
9.26･27 ロハスフェスタin東京
10.18 ねりま・エコスタイルフェア
11．1 上石神井地区祭
11．3 春日町リサイクルセンター
11.27 中学生校外学習対応
2．7　省エネルギー月間講演会

3.27　練馬こぶしハーフマラソン

⑥ 地球温暖化防止月間講演会

日時：12 月 6 日（日）　10 時～正午

会場：区役所地下多目的会議室

内容：「宇宙からのメッセージ 大きな夢と美しい地球を！」

講師 宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）

第一宇宙技術部門衛星利用運用センター 松原彰士氏

展示：こどもエコ・コンクール入選作品パネル 15 枚

実績：参加者 41 組 67 名

⑦ その他

○ロハスフェスタの後援・参加

ロハスフェスタ実行委員会主催の環境イベント「ロハスフェスタ」（H27．9．26～27　都立光が丘公園）を後援するとともに、ブース展示やクイズを行った。また、マスコットキャラクターの出動やサンバイザー作成体験などにより、協議会の周知を行った。

○区「環境作文コンクール」への協力

「環境作文コンクール」と「こどもエコ・コンクール」入選作品の合同展示（H28.1.20～27）を練馬区庁舎２階通路で行った。

○練馬こぶしハーフマラソン 2016・出展

練馬こぶしハーフマラソン実行委員会主催の「練馬こぶしハーフマラソン 2016」（H28.3.27　都立光が丘公園）にブース出展をし、省エネクイズを行った。また、キャラクターの出動により協議会の周知を行った。

Ⅶ　評議員会および理事会の開催状況

定款第 17 条および第 30 条の規定に基づき、平成 27 年度に開催した評議員会および理事会はつぎのとおりである。各案件について決議を得た。

１　評議員会の開催状況

回　数	開 催 年 月 日 等	案　　件
第１回	平成 27 年4月1日（水） 出席評議員　7 名	議案第　１号　理事の選任について
第２回	平成 27 年6 月 10 日（水） 出席評議員　7 名 出席監事　　２名	議案第　２号　平成 26 年度事業報告について 議案第　３号　平成 26 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社決算について 議案第　４号　評議員の辞任について 議案第　５号　評議員の選任について 議案第　６号　理事の選任について 報告第　１号　規程等の制定および一部改正について
同意書による決　議	平成 27 年6 月 30 日（火）	議案第　７号　評議員の辞任について 議案第　８号　評議員の選任について
第３回	平成 27 年 11 月 30 日（月） 出席評議員　６名	議案第　９号　みどり事業の受託について 議案第１０号　公益財団法人練馬区環境まちづくり公社常勤役員の 12 月支給賞与額について 報告第　２号　平成 27 年度上半期事業執行状況について 報告第　３号　平成 27 年度上半期予算執行状況について 報告第　４号　規程等の制定および一部改正について

回　数	開 催 年 月 日 等	案　　件
第４回	平成 28 年３月 10 日（木） 出席評議員　５名	議案第１１号　公益財団法人練馬区環境まちづくり公社常勤役員の報酬月額および６月支給賞与額について 報告第　５号　平成 28 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業運営方針 報告第　６号　平成 28 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業計画 報告第　７号　平成 28 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社予算 報告第　８号　規程等の制定および一部改正について

２　理事会の開催状況

回　数	開 催 年 月 日 等	案　　件
第１回	平成 27 年４月１日（水） 出席理事　１３名 出席監事　　２名	議案第　１号　常務理事の選定について
第２回	平成 27 年５月 26 日（火） 出席理事　１３名 出席監事　　２名	議案第　２号　平成 26 年度事業報告について 議案第　３号　平成 26 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社決算について 議案第　４号　評議員会の開催について 報告第　１号　規程等の制定および一部改正について
第３回	平成 27 年６月 10 日（水） 出席理事　１４名 出席監事　　２名	議案第　５号　理事長の選定について 議案第　６号　常務理事の選定について
第４回	平成 27 年 11 月 30 日（月） 出席理事　１５名 出席監事　　２名	議案第　７号　みどり事業の受託について 議案第　８号　公益財団法人練馬区環境まちづくり公社特定個人情報の適正な取扱いに関する基本方針の制定について 議案第　９号　公益財団法人練馬区環境まちづくり公社特定個人情報取扱規程の制定について

回　数	開 催 年 月 日 等	案　　件
		議案第１０号 評議員会の開催について 報告第　２号 平成 27 年度上半期事業執行状況について 報告第　３号 平成 27 年度上半期予算執行状況について 報告第　４号 規程等の制定および一部改正について
第５回	平成 28 年3月 10 日（木） 出席理事　１５名 出席監事　　２名	議案第１１号 平成 28 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業運営方針 議案第１２号 平成 28 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業計画 議案第１３号 平成 28 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社予算 議案第１４号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事務局組織および処務に関する規程の一部改正について 議案第１５号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社社員就業規則の一部改正について 議案第１６号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社社員給与規程の一部改正について 議案第１７号 評議員会の開催について 報告第　５号 規程等の制定および一部改正について

Ⅷ 評 議 員 名 簿

平成 28 年3月 31 日現在

役 職 名	氏 名
評 議 員	野 田 宣 博
評 議 員	横 山 正 二
評 議 員	秋 山 勉
評 議 員	瀧 島 平八郎
評 議 員	中 村 壽 宏
評 議 員	高 橋 利 充
評 議 員	内 木 宏

Ⅸ 役 員 名 簿

平成 28 年3月 31 日現在

役職名		常・非	氏名
理事	理事長	常勤	山中　協
	常務理事	常勤	郡　榮作
	常務理事	常勤	乾　嘉行
	理事	非常勤	上野定雄
	理事	非常勤	杉浦　浩
	理事	非常勤	篠　利雄
	理事	非常勤	阿部財智
	理事	非常勤	大津尚子
	理事	非常勤	横倉　尚
	理事	非常勤	鈴木正邦
	理事	非常勤	野口和俊
	理事	非常勤	本橋正寿
	理事	非常勤	髙橋司郎
	理事	非常勤	森田　勇
	理事	非常勤	岩崎和夫
監事	監事	非常勤	皆川恒男
	監事	非常勤	小泉鐵男